

学位研究 第9号 平成10年10月 (論文)

[学位授与機構研究紀要]

アメリカにおける学外学位授与機関  
—チャーターオーク州立大学の制度と仕組み—

External Academic Degree Program in the United States :  
The System and Structure of Charter Oak State College

橋本 鉦市

Koichi HASHIMOTO

*Research in Academic Degrees*, No.9 (October, 1998) [the article]

The Journal of National Institution for Academic Degrees



# アメリカにおける学外学位授与機関 ーチャーターオーク州立大学の制度と仕組みー

橋本鉦市\*

## 1. はじめに

本稿は、アメリカにおける学外学位授与機関の一つであるチャーターオーク州立大学（Charter Oak State College, 以下COSCと略記）の制度と仕組みについて概観することを目的としている。同大学は、リージェント大学、トーマス・エジソン州立大学と並んで、アカデミック・レジデンシー（academic residency）を学生に課さない、すなわちキャンパスでの教育機能を持たず、当核大学外での学修の評価のみに基づいて学位（準学士・学士）を授与しているアメリカの学外学位機関である。この意味で、わが国の学位授与機構の制度と相通じる部分が多い。

すでに、こうした機関の代表格とも言えるリージェント大学については先行研究が蓄積されているが、本稿では、リージェント大学や日本の学位授与機構との比較を視野に入れつつ、COSCの制度と仕組みについて紹介する。具体的には、まず、COSCの概要と沿革を概説し（第2章）、その学位取得プログラムのステップを詳述して（第3章）、COSCが授与している4つの学位についての要件と、学士号取得に必要な「専攻」分野の種類について紹介する（第4章）。さらに、大学内外での学習やコースプログラム、公的な試験や人生経験など、COSCが評価する大学レベルの「単位」の源泉について考察し（第5章）、最後にCOSCのわが国へのインプリケーションをまとめる（おわりに）。

## 2. 概要と沿革

COSCは、コネチカット州ハートフォード市の中心部に位置する公立大学であるが、州知事が任命する議長と7名の委員、および学生会選出の学生1名によって構成される学位授与理事会（Connecticut Board for State Academic Awards）が運営する学外学位プログラムである。また、コネチカット州高等教育委員会（Connecticut Board of Governors for Higher Education）およびニューイングランド学校・大学協会（New England Association of Schools and Colleges）のアクレディテーションを受けている。

COSCの創設は、1973年の州議会による学位授与理事会の設置に遡る。1980年には同理事会は学位プログラムの州立大学としての法的認可を付与され、チャーター・オーク・カレッジと

---

\*学位授与機構審査研究部 助教授

命名された。1992年には、チャーター・オーク・カレッジが州内の高等教育システムの一部であることを明示するため、チャーターオーク「州立」大学（COSC）と改称され、現在に至っているわけである。

COSCの目的は、自己啓発の可能性のある成人に対して従来とは異なる高等教育を提供することであるが、それは具体的には以下のようにまとめられている。

- ・一貫した大学レベルのカリキュラム，単位互換，試験，およびその他の学力判断方法を統合する学位プログラムの提供
- ・信頼できる有効なテストと，人生経験や大学外での学習経験の評価方法の開発
- ・ビデオ・コンピューター・電子メディア技術等による学習アクセスの提供
- ・新たな学位取得の方法・機会の周知
- ・多様なバックグラウンドを持つ成人に対する高等教育へのアクセスの拡大
- ・成人学習者のニーズに適合的なイノベーションの推進

学位取得を目指す学生の側から見れば，COSCへ入学すれば，大学キャンパスに通学する必要はなく，他の機関でのコースワークや大学以外の機関・軍隊などでの学習経験，試験，ポートフォリオ評価，資格・免許プログラムなどでの学習など，様々な学修成果が学位取得のための単位として，認定されることとなる。

このようにCOSCは，大学キャンパスでの学習こそが高等教育であるという伝統的な教育観を踏襲することなく，大学レベルの学習は多様な機関・形態で行われ得るという認識のもとで，学位取得への柔軟なアプローチを提供しているのである。ただし，COSC理事会は，こうした新たな高等教育の目的遂行のために，各分野ごとに専門のファカルティ（教授陣）を多数抱えている。彼らは，コネチカット州の公立および私立の高等教育機関から任命され，現在60人以上を数えているが，その任務は，学位の要件を確立し，個々の学生の学位プログラムをレビューし，必要であれば特定学科の外部の試験官を推薦してその単位を認定することなどである。

さて，COSCは，学芸準学士（A.A.：Associate in Arts），科学準学士（A.S.：Associate in Science），学芸学士（B.A.：Bachelor of Arts），科学学士（B.S.：Bachelor of Science）の4つの学位を授与しており，様々な専攻が用意されている（後述）。1996年春現在，それぞれの学位授与者数は，学芸準学士（A.A.）283名，科学準学士（A.S.）1,243名，学芸学士（B.A.）604名，科学学士（B.S.）2,191名の，合計4,321名である。

### 3. 学位取得までのステップ

さて，COSCにおける準学士および学士の学位取得までには，8つのステップが想定されている。すなわち，

1. 計画
2. 申し込み・学位候補者としての入学

3. 入学以前の学業成績の評価
4. アカデミックアドバイザーとの相談
5. 学士号候補者への進級
6. プログラム完了
7. ファカルティーによる評価
8. 理事会の許可・卒業

の8ステップである。以下、詳細に紹介してみたい。

#### ステップ1：計画

COSCでは、次のような学位取得計画を入学前に立てておくよう勧めている。

1. 目標の設定（学位の必要性、将来の目標の確認）
2. 過去の学修の再検討（大学や軍隊で取得したコースや、趣味、旅行、OJT訓練、ボランティア、セミナーでの学習体験のリストアップ）
3. これまで累積してきた単位に関するCOSC側との事前相談
4. COSCが提供する学位プログラムの選択

#### ステップ2：申し込み・学位候補者としての入学

入学には2つのプロセスが必要である。まず、学位を取得しようとする申請者は、申し込み書を手数料（\$ 40, 98年度現在、以下同様）とともに大学に郵送し、それらの書類が受理された時点で入学となる。大学への入学申し込みは、1年を通して随時受け付けられているが、入学には、1. 16歳以上であることと、2. 同校が認定する大学、軍隊、大学外での学修評価、大学レベルの標準テストなどででの成果が、同校の基準に則って単位換算された場合、9単位以上累積されていること、の2つが要件となっている。人種、宗教などによる差別はもちろん設けられていない。

入学時には、4つの学位プログラムのうちいずれかを選択することが求められるが、その後の変更は可能である。また、それまでに通った大学、軍隊や学外教育プログラムで終了したコース、専門職の免許など、全てリストアップする必要がある。

次に、これまでに在籍していた大学、ETSやACTなどの試験機関、軍当局などに、学業成績の記録やテストでの得点表などのコピーをCOSCまで郵送するよう、それらの機関に依頼する必要がある。

これらの事務手続きが全て完了すると、学位候補者としての入学が許可され、入学費（同州在住者：\$ 380, その他：\$ 565）を納付することとなる。ちなみに、学位取得までにかかる諸経費は、卒業費（\$ 120）、毎年の学生活動費（\$ 3）や単位評価・成績書類保管のための経費（同州在住者：\$ 265, その他：\$ 400）、学士号候補者の専攻プロポーザル評価のための手数料（\$ 235）などがある。

### ステップ3：入学以前の学業成績の評価

入学金の納付後、正式にこれまでの学業成績の記録が評価され、COSCの正式な記録に組み込まれ、入学前の単位数、カテゴリー、レベルなどが、ファカルティーによって審査・決定される。

### ステップ4：アカデミックアドバイザーとの相談

これまでに学修した単位が正式に認定されると、アカデミックアドバイザーは、単位と学位計画ワークシート（学位のために単位がどのように適合するかを示しているもの）を含む現状報告書を学生に送ることとなる。単位取得は、個々の学生に応じたペースで進められ、時間的な制約は設けられていない。

アドバイザーはすでに取得した単位と重複しないように気を配りつつ、学生が学位要件を満たす最善の方法をアドバイスし、人生経験または職業経験を通して得た知識が評価される方法や、テストプログラム、通信教育コース、自主指導学習、従来の大学が提供しているコースなどについての相談を行う。

### ステップ5：学士号候補者への進級

学士号取得を目的とする学生は、ファカルティーに専攻プロポーザルを提出し承認されなければならない。アカデミックアドバイザーの指導の下で、専攻しようとする1科目または複数科目の組み合わせによって36単位をそろえ、プロポーザルを用意する。そのうち27単位は、基礎（1年生）以上のレベルでなければならない。その27単位のうち15単位は、上級（3年・4年）レベルでなければならない。また、プロポーザルには、担当のファカルティーに学生自身が自己紹介する意味でのエッセイも含まれる。エッセイでは、何を学びたいのか、専攻で何を学んだか、専攻は自分の目的とどう合致しているのか、なぜCOSCで学位を取得しようとしているのか、などを説明する。

プロポーザルが承認されれば、学生とカレッジの間に合意が形成されたことになる。この合意は「学習契約」（Learning Contract）と呼ばれ、大学側はその学生を特別なプログラムの単位履修を条件とする学士号候補者として受け入れたことを意味する。

### ステップ6：プログラム完了

プログラム完了予定の3ヶ月前に、記録事項のレビューのために、学生は確認書を提出する必要がある。このレビューにより、学位の要件が満たされているとなれば、累積された単位の記録が、学位に関する委員会に提出され最終評価を受けることとなる。

### ステップ7：ファカルティーによる承認

学位候補者の学業記録が、学位に関する委員会の定期的な審査会でファカルティーに提出される。

ステップ8：理事会の許可・卒業

COSCの理事会は毎年9月、11月、3月に、学位授与のための定期的会合を開催し、ファカルティからの推薦を受諾して、学生に学位を授与する。卒業証書を学生に授与する卒業式は、4月に行われる。

#### 4. 学位取得の要件

##### (a) 学位要件

さて、COSCが授与する学位は、学芸準学士（A.A. : Associate in Arts）、科学準学士（A.S. : Associate in Science）、学芸学士（B.A. : Bachelor of Arts）、科学学士（B.S. : Bachelor of Science）の4種類であることは前に触れたが、それぞれの要件は、次に示すとおりである。

なお、それぞれの学位の要件となっている「単位」数とそのレベルについて触れておくと、「単位」とは、普通、セメスター単位（Semester Credits）のことを指し、伝統的な大学教育において、週1時間の講義に2時間の宿題・予習、および最終試験という15週間にわたるプログラムを完全に終えたことを意味している（機関によっては、Term Creditsをだすケースもあるが、これらはふつうセメスター単位の2/3として換算される）。また、大学での単位レベルは、COSCの場合、基礎—導入レベル（大学で通常1年目を取るレベル）、中級レベル（基礎・導入レベル以上の中間レベルで、大学では通常2年目を取る）、上級（大学3年・4年次のレベルで、中級に続く特定学科・分野を専攻する）の3レベルに分類している。このように、COSCは伝統的な大学での単位を、質・量ともに詳細な規定にしたがって、換算・認定しているわけである（次章参照）。

##### 学芸準学士（A.A. : Associate in Arts）

取得要件：合計60単位、そのうち最低45単位は自由学芸の分野から取得する必要。

英作文 6単位

人文科学（文学、宗教、哲学、美術史、音楽鑑賞を含む）6単位

社会科学（歴史、または政治科学から最低3単位を含む）9単位

数量理論・数学 3単位

科学 4～6単位

その他の自由学芸：人文科学（外国語とスピーチを含む）、社会科学、数学、科学

15～17単位

その他：応用学科および自由学芸の科目を含みうる 15単位

##### 科学準学士（A.S. : Associate in Science）

取得要件：合計60単位、そのうち最低30単位は自由学芸分野から取得する必要。

英作文 6単位

人文科学（文学，宗教，哲学，美術史，音楽鑑賞を含む）6単位

社会科学（歴史，または政治科学から最低3単位を含む）9単位

数量理論・数学 3単位

科学 4～6単位

その他の自由学芸：人文科学（外国語とスピーチを含む），社会科学，数学，科学  
0～2単位

その他：応用学科および自由学芸の科目を含みうる 30単位

#### 学芸学士（B.A. : Bachelor of Arts）

取得要件：合計120単位，そのうち最低90単位は，自由学芸分野から取得する必要（2年制機関で得た単位は，90単位まで認定）

英作文 6単位

人文科学（文学，宗教，哲学，美術史，音楽鑑賞を含む）6単位

社会科学（歴史，または政治科学から最低3単位を含む）9単位

数量理論・数学 3単位

科学 4～6単位

追加の自由学芸：人文科学（外国語とスピーチを含む），社会科学，数学，科学  
60～62単位

その他：応用学科および自由学芸の科目を含みうる 30単位

\*その他の要件：1つの科目または自由学芸分野の科目の組み合わせの中で，認定された専攻で少なくとも36単位をとること。これらの単位のうち，少なくとも15単位は，上級レベルでなければならず，基礎（導入レベル）での単位は9単位を越えてはならない。

#### 科学学士（B.S. : Bachelor of Science）

取得要件：120単位，最低60単位は，自由学芸分野から取得する必要（2年制機関で得た単位は，90単位まで認定）。

英作文 6単位

人文科学（文学，宗教，哲学，美術史，そして・または音楽鑑賞を含む）6単位

社会科学（歴史，または政治科学から最低3単位を含む）9単位

数量理論・数学 3単位

科学 4～6単位

追加の自由学芸：人文科学（外国語とスピーチを含む），社会科学，数学，科学  
30～32単位

その他：応用学科および自由学芸の科目を含みうる 30単位



\*その他の要件：1つの科目または自由学芸分野の科目の組み合わせの中で、認定された専攻で少なくとも36単位をとること。これらの単位のうち、少なくとも15単位は、上級レベルでなければならない。基礎（導入レベル）での単位は9単位を越えてはならない。

#### (b) 学士号取得のための専攻

上記のように、学士号の取得には、専攻（Concentration）が要求されるが、これは、学生が一番力をいれて学修した分野のことを指す。前述のように、この専攻の認定に当たっては、60単位を累積（そのうち希望する専攻で36単位以上）した時点で専攻プロポーザルを大学側に提出して、「学習契約」（Leaning Contract）が取り交わされることとなる。専攻分野は、以下の通りである。

- ・ビジネス
- ・児童研究
- ・コミュニケーション
- ・コンピューター科学
- ・人文科学（音楽・演劇・ダンスなどの応用学芸、美術史、音楽史、音楽理論、演劇史、外国語、文学、哲学、宗教研究）
- ・人文関係学科（応用行動科学、行政学、健康科学）
- ・個別研究（Individualized Studies）：個人のキャリアやニードにあうよう、専門職科目と自由学芸科目とをそれぞれ半々に組み合わせて取得することができるようにした専攻。
- ・自由研究（Liberal Studies）：自由学芸の諸学科の組み合わせによる専攻。
- ・数学
- ・自然科学（生物学、化学、地学、物理）
- ・視力ビジネス経営学
- ・社会科学（文化人類学、経済学、歴史学、政治科学、心理学、社会学）
- ・テクノロジー（応用科学技術、産業技術、消防科学技術管理、消防技術、技術管理）

## 5. 単位の源泉

COSCでは、多種多様な学修成果が学位取得要件の単位として認定されているが、全ての単位認定の最終決定権はファカルティに委ねられている。単位認定されている学修成果は、以下の通りである。

#### (a) 大学コース

大学コースの単位の認定には、そのコース名が学位に適切な名称であること、その機関が、独自に学位のためのコースに対しアカデミックな単位を授与していること、その機関がコネチカット州の高等教育機関としてアクレディットされていること、取得した単位の評価がC

(2.0) 以上であること，などの要件を満たしていなければならない。

(b) 大学通信教育コース

このコースによる単位認定は，その機関がアクレディットされており大学単位を授与していることなどの必要があるが，多くのCOSCの学生が学位プログラムを終了するために通信教育を受けていることは事実であり，実際にCOSCは，カンザス大学，ウィスコンシン大学，ジョージア大学の通信教育システムと密接な関係を持っている。ただし，この通信教育コースは，全ての学科で可能というわけではない。

(c) 大学外コース

これは，高等教育機関として認定されていない組織によって運営されている大学レベルの教育プログラムを指すが，具体的には，軍隊，企業，専門職団体，政府・非営利団体によって提供されるコース・プログラムなどのことである。

(d) COSCが評価するコース・プログラム

これまで，COACのファカルティーは，様々なコース・プログラムを評価・認定・単位換算してきているが，そのコース・プログラムと取得可能な単位数換算は，非常に多岐にわたりまた詳細な規定がある。その実態を把握するためにも，冗長をおそれず以下に列記しておこう。

・保健分野

緊急医療技術

コネチカット州保健医療部：最高4単位

付添看護婦資格

コネチカット州付添看護学校卒業生（1986年1月以降）：上限12単位

付添看護婦プログラム（モース・ビジネス学校）：18単位

医学実験室技師

臨床実験室の人材のための国家資格機関またはアメリカ臨床病理学会による資格：上限21単位

メンタルヘルス職員訓練プログラム

コネチカット州メンタルヘルス部 フェーズ1：上限9単位

（1978年5月以降に終了したプログラム）フェーズ2：上限6単位

#### 麻酔看護婦

アクレディットされた大学外病院訓練プログラムの終了後、麻酔看護婦の資格審議会に登録：上限12単位

#### 専門看護婦

専門ごとの資格：上限12申請単位

#### 外科医アシスタント

大学プログラムの終了、または大学外プログラム終了後、保健教育プログラムのアクレディテーション委員会の試験に基づいた登録：上限36単位

#### 登録看護婦

アクレディットされた大学外の看護教育プログラムを卒業後、看護試験委員会の免許取得（コネチカット州では1986年1月1日以前、その他の州は日付は不問）：上限45単位  
1986年1月1日以降、コネチカット州看護学校卒業後、看護試験委員会の免許取得：上限30単位

#### 登録技師（放射線技師）

アクレディットされた学校での訓練プログラム終了後 ARRTの資格取得：上限33単位

#### 呼吸器専門技師

アクレディットされた学校での訓練プログラムの終了後、呼吸器ケアのための国家委員会の資格取得：上限23単位

#### 呼吸器セラピスト

アクレディットされた学校での訓練プログラムの終了後、呼吸器ケアのための国家委員会に登録：上限39単位

#### ・ビジネス分野

データ・インスティテュート（コネチカット州イースト・ハートフォード）

コンピューター電子技術プログラム：17単位

コンピューター電子スペシャリストプログラム：17単位

コンピューター会計スペシャリストプログラム：5単位

コンピューター会計技師プログラム：5単位

旅行観光スペシャリスト：8単位

医科歯科医療事務スペシャリスト：5単位

医科歯科医療事務アシスタント・プログラム：5単位  
ワード・プロセッサ―・スペシャリスト：4単位  
情報処理スペシャリスト：4単位  
マイクロコンピューター・アシスタント・プログラム：3単位  
マイクロコンピューター技術プログラム：3単位

モース・ビジネス学校（コネチカット州ハートフォード）  
法律アシスタントプログラム：上限13.5単位

・その他の分野

アルコール・薬物乱用カウンセラー  
コネチカット州アルコール薬物乱用委員会―資格認定委員会による資格  
アルコールまたは薬物乱用カウンセラー：4単位  
アルコールおよび薬物乱用カウンセラー：6単位

黒人牧師プログラム  
ハートフォード神学校（プログラム終了）：上限9単位

首都地区教育審議会（CREC）  
第2次援助プログラム：3単位  
準専門職員としての都市ケア訓練プログラム：9単位

児童開発協会（CDA）  
乳幼児審議会による資格承認：上限9単位

コネチカット矯正部  
オリエンテーション・プログラム（1992年7月1日以降）：3単位

コネチカット州警察学校  
都市警察基礎訓練プログラム（1992年7月1日以降）：6単位

FAA操縦士資格  
民間パイロット：6単位  
商業パイロット：6単位  
計器：6単位  
マルチエンジン：2単位

フライト・インストラクター（CF1）：4単位

フライト・インストラクター（CF11）：2単位

フェイマス芸術学校（コネチカット州ウエストポート）

デッサンと油絵1：2単位

デッサンと油絵2：2単位

商業美術，イラスト，デザイン1：2単位

商業美術，イラスト，デザイン2：2単位

消防署長，副消防署長，消防検査官：9単位

消防士3：3単位

消防事務官（1，2）：3単位

消防サービスインストラクター（1，2）：3単位

ファースト・バプティスト教会学校プログラム（コネチカット州ハートフォード）

宗教改革までのキリスト教史：3単位

キリスト教史2：3単位

1619年から現在までの黒人教会史：3単位

世界の宗教：3単位

説教術：3単位

英語聖書翻訳史：1単位

エンジニアリング試験の基礎

国家エンジニアリング試験審議会：上限51単位

児童文学学校（コネチカット州ウエスト・レディング）

児童および10代のための書き方教室（1989年夏から）：6単位

アメリカ識字ボランティア

トレーニングおよび監督チュータリングの終了（1987年秋以降）

基礎読解チューター訓練：3単位

ESL チューター訓練：3単位

ワークショップ指導者訓練：1単位

ロングリッジ作家団体（コネチカット州ウエスト・レディング）

印刷技術：7単位

## 検眼士コース・試験

アメリカ検眼士協会の屈折原理コース：4単位

国家検眼士資格試験：12単位

コンタクトレンズ登録試験：8単位

## プラット&ホイットニー徒弟プログラム

1976年以降終了：単位はプログラムによる

### (c) テストプログラム

様々な公式のテストプログラムでの学修も、COSCの学位要件を満たすのに利用できるが、試験科目や取得得点によって認定レベルや認定単位数は異なっており、詳細な規定が設けられている。以下に、COSCが認定するテストプログラムをリストしたが、それぞれについて簡単に説明しておこう。

#### ・大学レベル試験プログラム(CLEP)

CLEPは大学委員会 (College Board) の提供するテストプログラムで、試験時間は90分、アメリカ国内の他、世界中の軍施設および一部の都市でも行われている。一般試験と科目試験の2種類があり、その中のいくつかの試験科目が、基礎レベルの3~6単位として認定されている。

#### ・アメリカ大学テスト協会—実力試験プログラム(ACT/PEP)

試験時間は3~4時間で、ビジネス、教育、看護および自由学芸の分野で受験可能であるが、単位は科目の範囲とレベルにより様々である。

#### ・卒業記録科目試験 (GRE)

GRE (Graduate Record Tests) の科目試験 (一般試験とは異なる) は、教育試験サービス (ETS) が開発した試験であり、様々な科目が設けられている。この試験による単位認定は学士号候補者に限られている。試験は2時間50分で年間数回主要な大学で行われているが、単位数は個々の試験により異なっている。

#### ・上級プレースメント試験 (AP)

大学委員会 (College Board) のAP試験 (Advanced Placement Examinations) は、地元の高校で毎年春に行われているが、高校時代にこの試験を受験した学位候補者は、大学委員会を通してCOSCでの単位として認定・取得しうる。

#### ・アメリカ軍機構 (USAFI) / 国防省非伝統型教育支援活動 (DANTES) 試験プログラム

国防省非伝統型教育支援活動 (DANTES) は、以前はアメリカ軍機構 (USAFI) として知られ

ていたもので、その記録を引き継いだ。USAFIが行っていた一般教育開発大学レベル試験、科目別標準試験、コース終了試験、科目試験は、規定の最低得点があれば、COSCの学位の要件を満たすものとして利用できる。

DANTES試験は教育試験サービス（ETS）が開発した大学レベルのアチーブメントテストで、試験時間は2時間、COSCおよびアメリカ国内の大学で行われているが、この試験の科目の多くは、自由学芸と応用分野においてCOSCの学位要件を満たすのに利用できる。

#### ・チャーターオーク州立大学試験

この試験は、COSCのファカルティによって開発されたビジネス分野での実力試験で、COSCの入学者は、この試験によりビジネス専攻の関連分野（会計、金融、マーケティング、ビジネス統計）の多くで、上級レベルの単位を取得できる。試験時間は2時間、選択式の試験である。

#### ・トーマス・エジソン大学試験プログラム(TECEP)

COSCと同じ学外学位機関であるトーマス・エジソン大学でも、自由学芸、ビジネス、専門職コースの知識を計るための試験が数多く開発されているが、その中のいくつかはCOSCの単位と認定されている。ほとんどの試験が選択式であるが、なかには短答式またはエッセイ式の問題の試験もある。

#### ・オハイオ大学コース終了試験

COSCの学生は、オハイオ大学の自主学習プログラムの単位要件であるオハイオ大学試験を受け、単位換算が可能である。

#### (f) COSC単位プログラム

学生はCOSCが提供する自主指導学習（IGS：Independent Guided Study）、ポートフォリオ評価、特別コース評価、インターネットによるオンラインコースを利用して単位を取得することもできる。それぞれについて、簡単に説明しておきたい。

#### ・自主指導学習（IGS）

このコースは、研究指導書、ビデオ、カセット、テキストなどを使用して、自宅学習によって単位を取得するコースである。COSCのファカルティが、学生を支援したり、宿題や試験を直したりといったことを電話で行うことも可能である。1学期は16週間で、学生はこの時間枠組みの中でコースを終了することを求められる。

科目としては、1996-7年の秋・春学期の場合、「遺伝子学入門」（基礎レベル、3単位）、「西欧美術」（基礎レベル、3単位）、「南北戦争」（上級レベル、3単位）など、合計16コースが設定されている。

#### ・ポートフォリオ評価

これは、学生が人生経験から学んだ大学レベルの知識を示す機会を提供するものである。ただし、単位は「人生経験」そのものに与えられるのではなく、人生経験から得た「学習成果」に対し与えられるのである。したがって、このコースによって単位を取得するには、その学習成果が大学レベルに相当するものであること、また証拠書類・記録によって確かに学習したということが証明できること、という2つの要件をクリアしていなければならない。その意味で、インターンシップ、実技、独学、現地経験などといったものは、通常ポートフォリオで評価する分野にはあたらないとされている。

また、このコースによる単位認定は、学位に必要な単位の50%までしか認められない。つまり、準学士候補者では30単位まで、学士号候補者は60単位までが、上限となっている。

このポートフォリオ評価を受けるためには、C以上の成績の英文文6単位を修得済みであるか、またはこの科目の CLEP試験で合格点をとっていないとてはならない。

#### ・特別コース評価

学外コースまたは個別プログラムでの学修は、それらが大学レベルと同等であると評価されれば、COSCの単位として認定される。

#### ・オンラインコース

これは近年のインターネットの普及に伴って開発されたプログラムで、COSCでは「批判的思考法」と「基礎心理学」の2コース(それぞれ3単位)を提供しており、学生がそれぞれのペースに沿って自宅で学習できるようになっている(当然のことながら自宅にインターネットと接続したパソコンが必要)。ただし、これらのプログラムはまだ開発途上にあり、上記2コースを提供し始めたばかりである、とのことである。

## 6. おわりに

以上、COSCにおける学位取得プログラムの概要を紹介してきたが、一見して分かるように、極めて多様な大学外の学習(専門学校レベルでの学習も含む)や人生経験などが大学レベルの「単位」として認定されていること、またその認定には詳細な換算規定が設けられていることなど、高等教育のユニバーサル化と生涯学習社会への移行が急速に進展しつつあるわが国の状況を鑑みると非常に重要な示唆を含んでいる。また、学士号取得の際の専攻認定が、COSCと学生間で取り交わされる「学習契約」として位置づけられていることなど、契約社会と言われるアメリカの一側面を垣間見せてくれており、非常に興味深い。学位取得の要件についてみてみれば、我が国の学位授与機構が課すような短大・高専などの卒業という基礎資格は設けられてはいないものの、その入学には9単位以上の単位の修得が必要とされており、一定の高等教育での経験を要求している点など、全くゼロからの単位累積加算を容認しているわけではない



ことも留意すべきであろう。さらに学位取得までのプロセスは、学生にかなりの自由が確保されているものの、アカデミック・アドバイザーによる単位習得の指導がきめ細かく施されているなど、COSCは教育機関ではないが、その教育的指導には特筆すべきものがあるといえるだろう。

今後、わが国でもこうした単位累積による学位取得のルートが開けていくものと考えられるが、本稿で紹介してきたようなCOSCの制度と仕組みは、重要な参考となるであろう。

#### 参考文献

Charter Oak State College, *Official Catalog :Your Alternate Course to A College Degree 1994-1996*, 1994

Charter Oak State College, *Official Catalog :The College for Adult Learners 1996-1998*, 1996

Charter Oak State College, *Portfolio Assessment Handabook 1997-1998*, 1997

Charter Oak State College, *Distance Learning (Booklet)*, 1997

Charter Oak State College, *Information Bulletin 1997-1998*, 1997

森利枝「リージェント大学の履修要件Iー自由学芸学位ー」『学位研究』第3号, 1995。

ポーラ・E・ペイノビッチ(森利枝訳)「リージェント大学の理念と現状」『学位研究』第6号, 1997。

館昭「リージェント大学の仕組みと現況ーアメリカの単位累積加算制度についてー」『IDE』1993年3月号, 1993。

館昭「アメリカの学位授与機関(リージェント大学)の仕組みと現況」『学位研究』第1号, 1993。

館昭「アメリカにおける学外学位課程の展開状況」『学位研究』第2号, 1994。

[ABSTRACT]

External Academic Degree Program in the United States :  
The System and Structure of Charter Oak State College

Koichi HASHIMOTO\*

The objective of this paper is to overview the system and structure of Charter Oak State College (hereinafter called COSC). Like Regents College and Thomas Edison State College, COSC is one of external degree institutions in the United States which do not require academic residency to their students. That is, they have no educational function on its own campus and confer the degrees (associate degrees, B.A. and B.S.) only based on the evaluation of the external study. In this sense, this college has many aspects which are similar to that of NIAD in Japan.

In this paper I would like to introduce COSC's system and structure. First, I outline the general information and its history, then explain the steps of earning a degree, and introduce the requirements of four degrees COSC confers and category of concentration needed by earning bachelor degree. Furthermore, I clarify sources of credit which COSC evaluates as a college-level, such as university programs or ex-university programs, official examinations, life experience and so on. And finally I present the implication from COSC to Japan.

---

\*Associate Professor, National Institution for Academic Degrees